

PEM025-17

会場:ファンクションルームA

時間: 5月27日16:30-16:45

ALOS/PALSARによる電離層異常の観測

Observation of the ionospheric disturbance by ALOS/PALSAR

島田 政信^{1*}, 村木 綏¹, 大塚雄一¹

Masanobu Shimada^{1*}, muraki yasushi¹, otsuka yuichi¹

¹宇宙航空研究開発機構

¹Japan Aerospace Exploration Agency

2006年に打ち上げられたALOS PALSARはL-bandを用いた高分解能映像レーダーで、森林監視、地殻変動調査に高い感度を有するが同時に、この周波数の信号は地表からの高さ200 km程度に夜間に存在する電離層の影響を受け、電離層の分布によっては、電波伝搬経路が偏向しSAR画像上に縞状の濃淡が発生することが少なからず観測されてきた。この原因としては、プラズマバブルと称される電離層が日中から夜間に移行し、高濃度な状態から低濃度な状態に移る状態で発生することが知られている。本研究では、1) 2006年以降に、全画像を入念に確認し、その発生頻度を計算する。2) その結果と太陽活動の状況の相関関係を調べる、3) 縞状雑音の発生原因を調べる、についての結果を紹介するものである。

キーワード:合成開口レーダー

Keywords: SAR